

先生が働きやすく、子どもたちが輝ける学校をつくろう!

見える化PJ 1

「学校のリアル見える化プロジェクト」ニュース No.1

全北海道教職員組合

2024.5.6

○5月5日緊急オンライン学習会を開催

中教審『審議のまとめ』に対して 声を上げ、情勢を変えよう!

●道教委の通知に対して「付度」が働く、道教委と市町村教委、各学校の関係

中教審は、教職調整額の見直しやメリハリある給与構造への改革などを念頭に置き、政府は来年の通常国会では法改正を見通しているようです。まず、中教審は5月中旬に「審議のまとめ」のパブリックコメントを募集すると見込まれています。

そこで、5月5日（日）に、緊急のオンライン学習会を開催しました。緊急の呼びかけでしたが、道内外から20名の参加し、「審議のまとめ」の問題点を学習するとともに、今後の運動推進の方向性、声を上げて情勢を変えることについて確かめ合いました。



●緊急学習会について、参加者の感想より

- ・組合に入っていなかったら、このような学習会にも気づかず、流されていたのではないかと怖く感じました。素早い情報提供をありがとうございます。最初は「お金も人も、減らされていくんだ・・・」と悲しい気持ちになっていましたが、当たり前思わず、いろいろな形で声にあげることが大事だと学びました。
- ・どのように抗うのか。まだまだ学びが足りない自分に気づきました。小さな声を集めるためにはどうすべきなのか。的確な指摘をし、声を反映させるためにはどのような動きが必要なのか。考えていかないといけないと思いました。まずは大まかにしか知らなかった答申を学ぼうと思います。
- ・中教審については、ある程度の内容は知っていたが、今回の学習会でハッキリと理解できた。答申と自民党案がほぼ同じなので、やはり、保護者や地域の方々にも学校現場のことを知ってもらい、様々な問題点が、教育行政を変えることによって解決できることを理解してもらうことが必要であることを感じた。連携していくことの必要性を確信できた。

●道教組ホームページで、学習資料を発信しています

今後も随時更新していきますので、職場での対話、単組や支部等での学習に活用してください。

https://www.dokyoso.jp/teachers_voice

